

研究へのご協力をお願い

研究課題名「頭頸部におけるメゾレベルでの形態学的研究と新たな臨床への架け橋」

東京歯科大学 解剖学講座

研究責任者：教授 阿部 伸一

この度は、東京歯科大学にご献体いただきましてありがとうございます。献体登録者様には、歯科医学教育ならびに歯科医学研究のため献体の生前同意をいただいておりますが、下記の個別研究をするにあたり、ご家族様にもご理解いただくため作成いたしました。献体いただいたご遺体は、学術研究のために礼意をもってお取り扱いさせていただきます。また、ご献体が当該研究に用いられることについてご家族様にご了承いただけない場合は研究対象といたしませんので、2026年8月31日までに下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって献体登録者ご本人およびご家族様に不利益が生じることはありません。

1. 研究目的と意義

頭頸部は、咀嚼器という大きな役割をもつに加え、視覚、聴覚、呼吸器のみならず中枢神経である脳を有する、複雑な器官の複合体です。したがって通常的手法による解剖では解明できないことも多く、いまだ不明な点が多数残されています。これまで我々の講座では、頭頸部の一部を採取し大きな組織切片を作製することで、多くの新発見をしてきました。ひきつづき、肉眼と顕微鏡レベルの解剖の中間となるメゾレベルでの解剖をおこなうことで、未だ知られていない頭頸部から新たな形態を明らかにしたいと考えています。

2. 研究方法

<この研究にご参加いただく方>

本研究の対象となるのは、2019年4月から2026年8月までに東京歯科大学に献体された方です。先天的、後天的異常がみられる献体は研究対象から除外させていただきます。対象人数は100名です。

<この研究の実施内容・方法>

献体された方から口腔・咽頭・喉頭の粘膜とその周囲の構造物(骨や筋)を試料として採取します。通法にてホルマリンにて固定後、パラフィン包埋し、10 μ mにて大型切片を作製します。形態観察の為に切片を染色し、実体顕微鏡にて観察した後に、脈管や神経の位置をメゾレベルにて把握します。

<ご協力いただく事項>

口腔・咽頭・喉頭の粘膜とその周囲の構造物(骨や筋)を試料として採取後、組織標本作製させていただきます。

<研究期間>

本研究の研究期間は、2023年10月20日～2027年3月31日です。

3. 個人情報等の取扱い

この研究に関わって収集される試料や情報は外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱います。

個人情報をデータ加工した後に解析を行うため、個人が特定されることはありません。ご遺体に関する試料および情報は厳格に管理いたします。試料情報管理責任者は解剖学講座阿部伸一です。

<試料・情報の保存方法とその期間>

本研究に係る情報は、電子記録媒体に収め、施錠可能なキャビネットに保管いたします。本研究で得た情報などは他の目的には利用いたしません。得られた情報は、論文掲載後5年間保存いたします。

<試料・情報の廃棄方法とその期間>

5年を経過した後は、保存していた記録媒体を物理的に破壊し、情報の漏洩がないよう適切に破棄いたします。

4. 研究に関する情報公開の方法

<研究計画書の開示>

研究対象者またそのご家族は、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。希望される場合は、研究責任者にお尋ねください。なおその際は、他の対象者の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内となります。

<研究成果の公表>

この研究で得られた成果を日本解剖学会や Journal of Anatomy に公表する可能性があります。氏名など個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

5. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

6. 費用等に関すること

研究にかかる費用について研究対象者に請求することはありません。本研究は東京歯科大学の講座研究費により行います。本研究の資金源等で利益相反の関係にある企業などはありません。また、対象の皆様への謝金はありません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学 解剖学講座

研究責任者、試料・情報管理責任者、献体責任者（白菊会）：解剖学講座 阿部伸一

連絡先 〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町 2-9-18

東京歯科大学 解剖学講座

電話：03-6380-9592